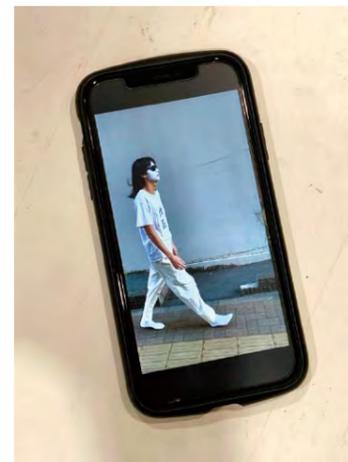


Intermedia Art



東京藝術大学・先端芸術表現科とは

通常の美大入試では、特定の表現形式（絵画や立体など）やテーマが課せられますが、先端芸術表現科入試は、自分で表現形式およびテーマを自発的に選択して受験することができます。描写や造形に加え、写真、映像、身体表現、音楽、デジタルメディア、その他、あらゆる方法で自分の追求したいテーマを表現することが可能です。現代アートに興味がある、自分のやりたいことを受験にぶつけたい方に適した学科だと言えます。

一次試験（素描または小論文）

素描と小論文のいずれも「自己と他者の関係性」を考へて表現することが求められます。「自己」も「他者」も固定したものではなく流動的です。自分と他者が共に生きている「社会」に目を向け、その社会も変化し得ることを柔軟に考えた上で、自分を表現する。複雑です。しかしこの複雑さこそが現代的表現です。自分の中に表現の根拠を求めつつ、世の中のたくさんの優れた表現を貪欲に取り入れてのトレーニングが求められます。



「個人資料ファイル」

A4ファイル20ページで自分の表現活動を表明するのが「個人資料ファイル」です。内容は、表現活動がはっきりと「作品」になる場合もあれば、人やモノとの関りの記録、メディア探求の過程、将来行いたいプロジェクトだったり、自由度がかなり高いのが特徴です。一方、自分の表現活動を「画像」と「言葉」によってファイル化するためには、作品制作とはまた別の表現力が必要です。そしてそれは現代で必須な力と言えます。



二次試験（総合実技試験）

総合実技試験の内容は、与えられたテーマと素材で作品制作し、翌日プレゼンテーションを行うものです。テーマも素材も毎年変更するからこそ、試験の場で一番何を表現したいかが重要になります。自分の表現を限られた素材と時間で、悔いなく出せるか。一年の集大成であり、コミュニケーション能力以上に、伝えたいという気持ちが大事な場です。本当に伝えたいことを伝えられる、先端芸術表現科ならではの試験です。



いま、アートは生きる希望になっていますか？

21世紀がかくも厳しい時代になると誰が想像したでしょう？
 「すべての人間はアーティストだ」と20世紀を代表する偉大な芸術家は言いました。
 それを受けると、先端芸術表現科はアートと社会をつなげる活動を開始しました。
 多様なメディアで、多様な表現テーマで、個人・社会・時代とコミュニケーションする。
 そんな先端芸術表現科の理念・理想は、いま、あなたの心を動かしますか？
 わたしたちは、アートに希望と夢を抱き続けます。

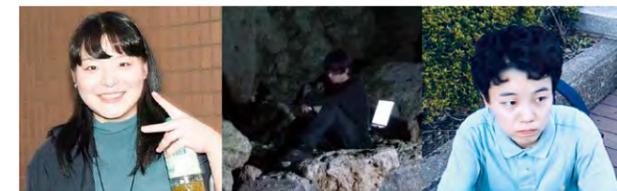
先端芸術表現

高卒生 対象	先端芸術表現専攻 本科	[月・火・水] 9:30-16:30 [日] 9:30-18:00 日曜日は本科専科 合同授業
高2・3生 対象	先端芸術表現専攻 月曜・火曜・日曜専科	[月・火] 17:30-20:30 [日] 9:30-18:00 日曜日は本科専科 合同授業
	日曜専科	[日] 9:30-18:00

指導スタッフ

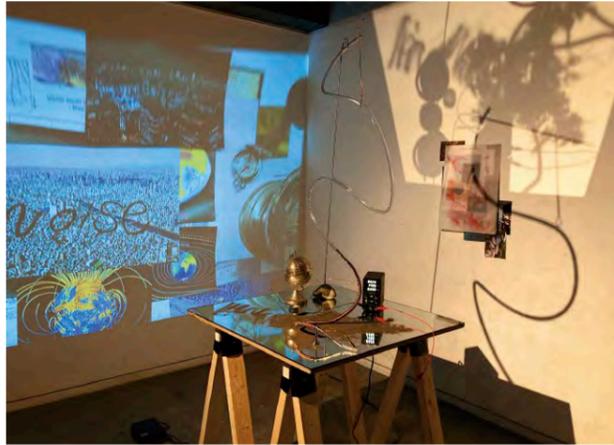
講師一覧 P.80

宮森みどり / 伊敷勇琉 / 菊地晴



CURRICULUM

1 学期	2 学期	3 学期・直前講習
表見と思考の基礎 ・自由のためのゼミ：パフォーマンス、インスタレーション、サウンド、写真・映像、コンセプチュアルなど ・一次試験対策特講：過去の試験問題を参照しつつ、基礎課題を中心に ・プレゼンテーション演習：自主制作のためのコンセプト設計 ・制作演習：小作品やマケット制作を起点に、大作へと向かう ・個人資料ファイル制作演習	自分のスタイルを目指して ・塾展作品制作：自分の納得できる大作を作りこむ ・現代アート史講義：自分の表現の位置を知る ・複数回の作品展示：展示作業を繰り返す行うことで、自分と他者の関係を知る ・「総合実技試験」特講：試験課題が何を求めているかを自覚する ・一次試験対策応用 ・個人資料ファイル制作応用演習 ・各種展覧会リサーチ	入試本番 ・試験対策の反復演習 ・個人資料ファイル制作および作品制作 ・二次試験実践 ・プレゼンテーション実践 3 学期は1月中旬で終了します。
春期講習	夏期講習	冬期講習
		直前講習



横瀬さん 東京・女子学院高校

■ 先端科を志望した理由は？ 現代美術、特にインスタレーションや映像作品に興味があって、観客者ではなく参加者としていられる場所だと判断して志望していました。勉強や研究がなかったから、そのなかでどの学部がいいのかなと探しているあいだに見つけた、という経緯だったと思います。

■ 横瀬さんは夏前に小論からデッサンに変えましたが、一次試験対策はどうでしたか？ わたしと河合塾の講師陣の受験ナイスプレーを挙げるとしたら、受験の追い詰められた状況で小論文からデッサンに試験を変更したことだったと思います。デッサンはずっと楽しかったです。なにを考えていても、画面を通して相手にそれを伝達できさえすればよい、という非言語的な表現の訓練ができたと思っています。

■ 受験時代の制作のテーマは？ 芸術作品には個人的な感覚と公共を接続しえる、という観点から物理的なだけではない「現象」を観察するというテーマで、ワームホールのモチーフを掲げて自身の制作をまとめました。代表作を挙げるとするならば、磁力をテーマにして映像、コイル、ドローイングで構成したインスタレーション作品です。「現象」というテーマを物理的な事象から、時空を超えて他者を観測する、というファンタジックな展開をみせる作品でした。

■ 河合塾の指導はどうでしたか？ 夏頃に一次試験を小論にするかデッサンにするか迷っていた時に、「やりたい方にしてください」と判断を一切委ねられて、こいつら、わたしを落としたいのか？と思ったことがあります。でも結局、楽しんで進められる方を選択してよかったし、そうすべきだったと振り返っています。受験のトレンドや傾向と対策というものは、実は関係なくて、いい作品を作れば受かる、という方針は助かりました。

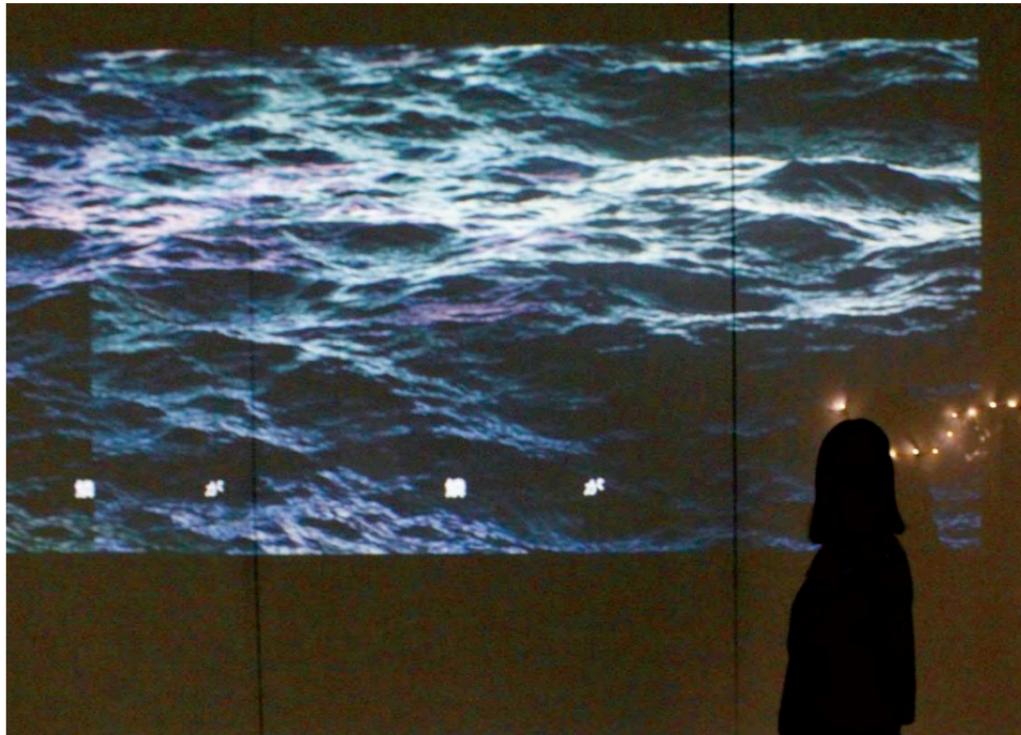
■ どうすれば合格すると思いますか？ 合格者の特徴は？ 他者の判断基準ではなく自分自身の尺度で自分(もしくは自分の作品)になんらかの信頼を置くかどうか、ではないでしょうか。

■ 受験で行き詰まったときの乗り切り方は？



浪人期間は自身の精神の寛解期間でもあったと思います。乗り切ろうと思いつつ寝たりするのがいいです。もしくは、問題が起こった時に、自分じゃなかったらどう判断していたか考えることができました。あなたはどうか、と問われた時に困惑するならば、わたしではなかったらどうするのか、と検討する迂回経路を辿ると良かった記憶があります。

■ 受験生へのアドバイスをお願いします 色々なもの、感覚、知識、気分、方法、戦略、言葉、表現、人、もの、作品、動植物、時間、場所、空間、天気、とかを、知ったり認識するといいたらいいと思います。自分の選択が、消極的で受動的な姿勢としてのものではなく、戦略としての、もしくは、賭けとしての選択ができればいいだろうと思います。



浪人期間は自身の精神の寛解期間でもあったと思います。乗り切ろうと思いつつ寝たりするのがいいです。もしくは、問題が起こった時に、自分じゃなかったらどう判断していたか考えることができました。あなたはどうか、と問われた時に困惑するならば、わたしではなかったらどうするのか、と検討する迂回経路を辿ると良かった記憶があります。

■ 受験生へのアドバイスをお願いします 色々なもの、感覚、知識、気分、方法、戦略、言葉、表現、人、もの、作品、動植物、時間、場所、空間、天気、とかを、知ったり認識するといいたらいいと思います。自分の選択が、消極的で受動的な姿勢としてのものではなく、戦略としての、もしくは、賭けとしての選択ができればいいだろうと思います。



R.Aさん 埼玉・西武学園文理高校

■ 先端科を志望した理由は？ 当初は演劇に興味がありましたが、舞台にまつわる技術を学びたいわけではなく、メディアや舞台表現自体への言及や反省に興味がありました。そこで調べたところ興味範囲をカバーしてくれそうな場所が先端科だったので志望するにいたりしました。

■ 他予備校と違う河合塾の特徴は何ですか？ 講師の方が講評のときに歯に布着せぬ言い方をしてくるところ、教示ではなく開拓してくれるところ。

■ 受験時代の制作のテーマは何？ 「変身」をキーワードに、自分の身体からズレ続けて生き延びていく方法を探すというようなことをテーマに制作していました。代表作は最後に制作した「友人になりきる・存在をケアする」ドキュメンタリーだと思います。

■ どうすれば合格すると思いますか？ 月並みですが、自分の立場やバックグラウンド、したいこと、したくないこと、について客観的に自覚すること。試験においてもポートフォリオ制作においても、

■ 受験対策で難しいことがあったら、何でしたか？ わたしは分かりやすすぎる文章を書く人だったので、印象に残る、掴みのある文章を書くことに苦戦しました。

■ 合格するんじゃないかと手応えを感じた瞬間は？ 受験当日、問1を回答してる最中に受かるかもって思いました。

■ アート(表現)への希望を語ってください。 JR新宿駅から河合塾に向かうまで、歩く人は速いし、ゆっくりな人はナンバカキャッチばかりだし、高いビルで空見えないし、風が刺々しいです。10分くらい減りながら歩いて、登校して、制作すると、だんだん、無下にされていると思うような生活のことばかりではなく、そこに対する抵抗や温存が生まれます。それは、うれしいことだと思います。希望とはまた別かもしれないですけど、私が生きるためには必要でしたし、必要な人がいると思います。



浪人期間は自身の精神の寛解期間でもあったと思います。乗り切ろうと思いつつ寝たりするのがいいです。もしくは、問題が起こった時に、自分じゃなかったらどう判断していたか考えることができました。あなたはどうか、と問われた時に困惑するならば、わたしではなかったらどうするのか、と検討する迂回経路を辿ると良かった記憶があります。

■ 受験生へのアドバイスをお願いします 色々なもの、感覚、知識、気分、方法、戦略、言葉、表現、人、もの、作品、動植物、時間、場所、空間、天気、とかを、知ったり認識するといいたらいいと思います。自分の選択が、消極的で受動的な姿勢としてのものではなく、戦略としての、もしくは、賭けとしての選択ができればいいだろうと思います。

福原カミュー美佐子さん 東京・都立三田高校 現役合格

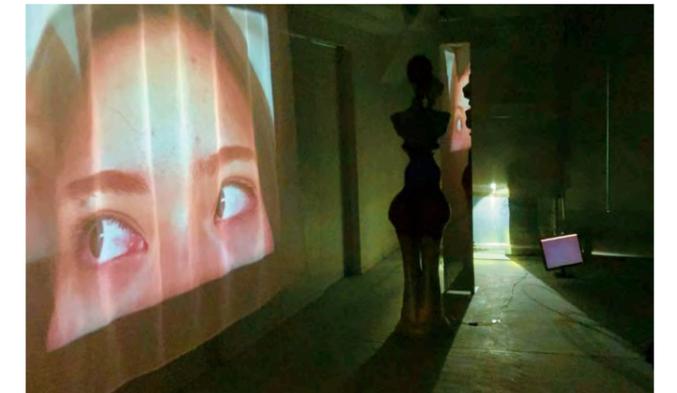
■ 福原さんは6月から先端科受験を始めて現役で受かりましたが、なぜ？ 私は塾に入る前からストップモーションをやりたいと決めていて、それを貫いたので短期間で一個のことに集中出来たからなのかなと思います。

■ 一次対策、デッサン経験がなかったけど、不安ではなかった？ 結構不安でした。ギリギリまで自分に似せることが全然できなくて、その時は焦りました。でも期間が短かった分すごく集中ができた気がします。一番手応えを感じたのは、12月の後半です。

■ 受験時代の制作のテーマは？ 人種や国籍をテーマにして制作をしました！自分はフランスと日本のハーフで小さい頃から中国に住んでいたから、日本とフランスでの葛藤などを作品にしたりしました。今はそれを続けながら違うテーマで制作してます！

■ 福原さんは基本的にいつも楽しんでたように見えますが、制作は楽しかったですか？ 辛いことはありましたか？ 昔から何か作ったり作ったりするのが好きで、制作はすごく楽しかったです！辛かったことは他の受験生に比べて美術の知識が全くなかったことです。入った当時は、アーティストとか有名な作品とか全然知らなくて、どうやって展示したり、テーマはどういう感じで作品にすれば良いのか全くわからなかったり、話についていけなかったことが一番辛かったです。わからない時は先生にどうすれば良いか聞いたり、調べたり、辛い時は美味しいご飯食べて、お風呂で熱すると気分が晴れます！

■ 河合塾の印象は？ 先生たちがほんとに最高です。話しやすくて、面白いです。ちゃんと一人一人に寄り添ってくれているのがすごく分かるし、だから先生から言われたことは全部的確で「たしかに！」って毎回刺さってました。もう一年やりたくらいほんとに楽しかったです。



INTERVIEWS